

(様式2) 平成 22 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570608505		
法人名	有限会社 テレサ		
事業所名	グループホームテレサ		
所在地	男鹿市脇本脇本字向山166-12		
自己評価作成日	平成22年11月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会		
所在地	秋田市旭北栄町1-5		
訪問調査日	平成22年12月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>職員が事業所の理念を理解し、日常的な介護ケアを十分把握しながら、利用者個々の状況に応じた介護サービスの実施をしている。又、管理所を中心に職員の勤務体制も充実しており、4年間職員の退職入社等の移動のないのが特徴である。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は日本海を見渡せる開放的な場所にあり、地域に溶け込んだ家庭的な雰囲気づくりにも努め、非常災害時における地域との連携体制を明確にし、一覧表にしている。さらに、24時間の訪問看護が受けられ、薬局を1カ所にまとめて服薬相談体制を確保するなど、医療面での連携体制も整えている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	1ユニット(東棟)	2ユニット(西棟)	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
		1ユニット(東棟)		2ユニット(西棟)	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営上の方針や目的を管理職会議で話し合いお互いに職員同士はその意義について確認し合っている。	運営上の方針や目的を管理職会議で話し合いお互いに職員同士はその意義について確認し合っている。	「毎日楽しく過ごすため、すべてを受け止め尊重します」「自宅と同様の生活ができるようにします」「個々の要望をとり入れ、計画実行します」という理念を掲げ、毎月の管理職会議や職員会議で確認し、廊下や食堂、事務所に掲示して意識付けしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事・催し物に積極的に参加しているが、額に地域住民が施設へ日常的に来所し交流する機会は少ない。	地域の行事・催し物に積極的に参加しているが、逆に地域住民が施設へ日常的に来所し交流する機会は少ない。又、地域住民との付き合いについては利用者に囲碁に興味のある人がいるので、その対局相手に週1回ある。	地域のお祭りを見に行ったり、事業所の敬老のつどいに地域の人々を招待しているほか、町内婦人会が訪れてお茶を立てたり、小学生と共に工作等の創作活動を行うなど、日頃から交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域住民とのつながりを持つ為、常に施設を開放し、利用者の状況を理解してもらい、励ましを頂いている。	地域住民とのつながりを持つ為、常に施設を開放し、利用者の状況を理解してもらい、励ましを頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員のみなさんへ、グループホームの状況報告をし、ご意見をいただき、この提言を基に地域とのつながりを深くすることに努めている。	運営推進委員のみなさんへ、グループホームの状況報告をし、ご意見をいただき、この提言を基に地域とのつながりを深くすることに努めている。	不定期に開催しており、運営状況を報告したり、情報交換や意見交換を行い、会議での話し合いをもとに、非常時における地域との連携体制やマニュアル整備、訪問看護事業所による24時間対応など、サービスの向上に生かしている。	今後は2カ月に1回程度の開催をめざし、サービスの向上につなげるための効果的な機会として活用してほしい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域密着型導入以来、市と十分な連携を取り合いながら利用者の介護ケアを行っている。	地域密着型導入以来、市と十分な連携を取り合いながら利用者の介護ケアを行っている。	施設長が日頃から行政担当課へ足を運び、利用者の確保や生活保護受給のケースについて相談しており、困難ケースについては、地域包括支援センターに相談している。また、平成21年度末に行政の補助を受けてスプリンクラーを設置している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	医師と相談してケアに努めており、身体拘束等はしておらず、又玄関は夜間のみ施錠で、日中は二重チャイムで対応し十分である。	医師と相談してケアに努めており、身体拘束等はしておらず、又玄関は夜間のみ施錠で、日中は二重チャイムで対応し十分である。	日中は玄関に鍵をかけず、職員の見守りにより自由な暮らしを支え、外出時には職員が付き添いながら利用者の安全確保に努めている。 また、近隣の消防署やスーパーマーケットとの協力体制を整え、一人で外出した場合には連絡をもらえるよう依頼している。	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については開設以来1度もなく、利用者も虐待を受けるような人もおらず、職員へもそのような行為のないよう十分研修させ指示している。		/	/
			虐待については開設以来1度もなく、利用者も虐待を受けるような人もおらず、職員へもそのような行為のないよう十分研修させ指示している。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会等へ職員の参加を勧め、自立支援事業や成年後見制度について、理解を深めているが、活用する人はいない。		/	/
			権利擁護に関する研修会等へ職員の参加を勧め、自立支援事業や成年後見制度について、理解を深めているが、活用する人はいない。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	新しく入居時の契約際に、重要事項の説明をし、家族等の理解と合意を得て納得して頂いている。		/	/
			新しく入居時の契約際に、重要事項の説明をし、家族等の理解と合意を得て納得して頂いている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会のメンバーに家族代表も入っており要望等を出してもらい、直ちにそれらを施設運営に反映させている。	意見箱を設置し、苦情相談窓口を掲示しているほか、面会時や運営推進会議にて自由に意見を言えるよう、また日頃から何でも話してもらえよう、雰囲気づくりに努めている。 家族から市販薬の服薬希望があった時には主治医と相談調整するなど、随時職員間で話し合いながら適切に対応している。		
			運営推進委員会のメンバーに家族代表も入っており要望等を出してもらい、直ちにそれらを施設運営に反映させている。			
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回管理職員会議を行いその後東棟・西棟でそれぞれ職員会議を行い運営・ケアに関する意見交換をし、反映させている。	ミーティングやミニカンファレンス等で職員の意見を聞くなど、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけており、外出時の車内や食事時の配席など、職員間で話し合いながら対応している。 また、研修計画に基づいて、内外の研修を実施し、職員の参加希望にはできる限り添うよう調整している。		
			毎月一回管理職員会議を行いその後東棟・西棟でそれぞれ職員会議を行い運営・ケアに関する意見交換をし、反映させている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者及び職員は十分意見を聴き職場環境の整備に努めています。尚、職員増員に要望もあるが経営状況もあるので検討課題としている。			
			管理者及び職員は十分意見を聴き職場環境の整備に努めています。尚、職員増員に要望もあるが経営状況もあるので検討課題としている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員を研修会への参加等を増やし職員の質の向上に努めている。		/	/
			代表者は管理者や職員を研修会への参加等を増やし職員の質の向上に努めている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型であり市内のグループホームとお互い情報交換をし空室情報や職員の研修や事務的な作業手中及び勉強会を行っている。		/	/
			地域密着型であり市内のグループホームとお互い情報交換をし空室情報や職員の研修や事務的な作業手中及び勉強会を行っている。			
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は、本人は大変不安を待って入所しているため、職員全員でその対応に努力している。又、利用者を安心させるため環境作りに努めている。		/	/
			入居時は、本人は大変不安を待って入所しているため、職員全員でその対応に努力している。又、利用者を安心させるため環境作りに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時に家族が困っている事・心配している事等について、入居者から十分な話しを聞き親しい職員・入居者の関係を築きたい。	/	/
			入所時に家族が困っている事・心配している事等について、入居者から十分な話しを聞き親しい職員・入居者の関係を築きたい。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする	/	/	/
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	I ユニット全員と職員が一家族であると認識して、全員で一緒に暮らす一家族として、その輪を築いている。	/	/
			II ユニット全員と職員が一家族であると認識して、全員で一緒に暮らす一家族として、その輪を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族も本人もお互いを必要とし、心が通じ合っている。	/	/
			II ユニット全員と職員が一家族であると認識して、全員で一緒に暮らす一家族として、その輪を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や親族の関係を大切にす為、大いに面会に来よう願っている。又、馴染みの場所へのドライブ等に心がけている。 馴染みの人や親族の関係を大切にす為、大いに面会に来よう願っている。又、馴染みの場所へのドライブ等に心がけている。	友人が気軽に訪ねられるような雰囲気や環境を整え、また、自宅周辺をドライブしたり、なじみの美容院や墓参りなど、思い入れのある場所との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	以前から入居されている利用者は仲間意識が強く、途中から入居された方をなかなか受け入れる事が出来ない場合があり、疎外感が生じない様に対応している。 入居者同士の仲間意識も強く、他の入居者が中に入れない場合もあり職員の声掛けによって、お互い支えあえるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等へ入院又は施設入所後も、入居者との関係を大切にしている。家族と連絡を取りながら直接訪問したりしている。 病院等へ入院又は施設入所後も、入居者との関係を大切にしている。家族と連絡を取りながら直接訪問したりしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時に、本人・家族等の希望を十分取り入れ作成している。今まではおおむね本人に行こうを把握できている。	日常生活の中で、食べたいものや「面白い所へ連れて行ってほしい」など本人の思いや希望について聞き取り、職員間で話し合いながらケアに生かしている。 また、入浴時には利用者と職員がじっくりと話し、思いや本音を聞きとる機会としている。	
		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時に、本人・家族等の希望を十分取り入れ作成している。今まではおおむね本人に行こうを把握できている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査は本人・家族・担当のケアマネージャーからの聞き取りなどで生活歴や馴染みの生活状況を把握しケアプラン作成に十分活かしている。		
		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前調査は本人・家族・担当のケアマネージャーからの聞き取りなどで生活歴や馴染みの生活状況を把握しケアプラン作成に十分活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の心身の状態がどの程であり、本人の持っている能力・技術を十分活かせるよう毎日の生活の中で配慮している。		
		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の心身の状態がどの程であり、本人の持っている能力・技術を十分活かせるよう毎日の生活の中で配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>家族・本人から話を伺い、希望に添ったホームでの生活が送れるように介護計画を作成し、又、目指している。</p> <p>家族・本人から話を伺い、希望に添ったホームでの生活が送れるように介護計画を作成し、又、目指している。</p>	<p>朝の申し送りで担当職員の気付きや利用者の状況を確認し、ミニカンファレンスなどで検討しながら計画を作成している。</p> <p>また、基本的には毎月モニタリングを行い、6か月毎または状態変化時に計画を見直している。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>利用者個人のケア記録記入は勿論のこと、職員会議及び・申し送り事項等に細心の注意を行い介護計画の見直しに活かしている。</p> <p>利用者個人のケア記録記入は勿論のこと、職員会議及び・申し送り事項等に細心の注意を行い介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>施設内に自前の自然な公園もあり周辺の風景や草花の観賞をするなど自然の資源を活用し利用者は安全で豊かな暮らしをしている。</p> <p>施設内に自前の自然な公園もあり周辺の風景や草花の観賞をするなど自然の資源を活用し利用者は安全で豊かな暮らしをしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医等については家族と十分協議をして受診しており、又、訪問看護ステーションとの連絡もよく取っている。さらに薬局の薬剤師の協力を得て服用等の指導を受けている。	利用者のかかりつけ医に受診できるよう支援しており、必要に応じて協力医や訪問看護も確保して適切な健康管理に努めている。		
			かかりつけ医等については家族と十分協議をして受診しており、又、訪問看護ステーションとの連絡もよく取っている。さらに薬局の薬剤師の協力を得て服用等の指導を受けている。	また、薬局は基本的に1カ所にまとめ、薬剤師から利用者全員の服薬について助言を得られる体制にしている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	県看護協会で行っている訪問看護ステーションが毎週1回来所し適切な指導を受けて日常の健康管理や受診時の参考にしている。	/	/	
			県看護協会で行っている訪問看護ステーションが毎週1回来所し適切な指導を受けて日常の健康管理や受診時の参考にしている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際に利用者の心のケアを大切にしながら、病院の主治医・看護師・医療相談員の連携を十分に取って病院との関係づくりに努めている。	/	/	
			入院した際に利用者の心のケアを大切にしながら、病院の主治医・看護師・医療相談員の連携を十分に取って病院との関係づくりに努めている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化及び終末期を想定しながら家族又、医療機関及び訪問看護ステーションでその支援作りに取り組んでいる。	重度化及び終末期を想定しながら家族又、医療機関及び訪問看護ステーションでその支援作りに取り組んでいる。	主治医の判断を仰ぎ、事業所での生活継続が可能であれば、希望に応じて看取りを行うことを事業所の指針としている。 なお、職員に看護師がいないため、医療面での管理が必要な場合は、医療機関での対応をすすめている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常に急変や事故発生を念頭に置き、職員全員が初期対応を考えながら職務にあたっている。避難訓練を実施している。	常に急変や事故発生を念頭に置き、職員全員が初期対応を考えながら職務にあたっている。避難訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策について昼夜を問わず緊急時連絡体制一覧表に沿って行動するよう、心がけていると共に地域(近隣)住民との協力体制を図っている。	災害対策について昼夜を問わず緊急時連絡体制一覧表に沿って行動するよう、心がけていると共に地域(近隣)住民との協力体制を図っている。	防災人命確保マニュアルを作成し、緊急時の対応について職員間で話し合い共有している。 また、消防計画を整え、地区消防署からの協力を得て避難訓練を実施している。	地域住民に避難訓練の参加を働きかけ、非常時の誘導などそれぞれの役割を明確にして非常災害時に備えてほしい。

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者のプライバシーには十分配慮し、入居者の尊厳を大切に言葉遣いに注意している。	利用者の気持ちや周囲に配慮した丁寧な声かけを心掛け、自尊心を傷つけないよう努めている。 また、個人情報保護規定を整備し、ケース記録の背表紙はイニシャルで記名するなど配慮している。	
			入居者のプライバシーには十分配慮し、入居者の尊厳を大切に言葉遣いに注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の日常生活の中で、自由に希望を表現したり、自分で決めることが出来るように努めており、入居者も自由に意見を出せるようにしている。		
			入居者の日常生活の中で、自由に希望を表現したり、自分で決めることが出来るように努めており、入居者も自由に意見を出している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	あくまで、入居者を最優先して入居者の希望にそって、その人らしい暮らしに出来るよう支援している。		
			あくまで、入居者を最優先して入居者の希望にそって、その人らしい暮らしに出来るよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	本人の希望にかなえるよう、その人らしさの願望あり、自宅に居る時のように、またその場にふさわしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。	本人の希望にかなえるよう、その人らしさの願望あり、自宅に居る時のように、またその場にふさわしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者一人ひとりの好み等を事前の調査で確認し、それを活かした食事と、さらに職員と入居者が一緒になって準備したり盛り付け・片付けをして楽しんでいる。行事食や季節の食材を取り入れ代替食も提供している。	入居者一人ひとりの好み等を事前の調査で確認し、それを活かした食事と、さらに職員と入居者が一緒になって準備したり盛り付け・片付けをして楽しんでいる。行事食や季節の食材を取り入れ代替食も提供している。	利用者の好みや季節の食材を献立に取り入れ、食事制限のある方には、協力医の栄養士から助言を得ながら栄養管理に努めている。 また、盛りつけや後片付けを共に行い、月1回程度の外食を取り入れるなど食事の雰囲気を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取や水分補給については宅に配慮をし、職員が常に入居者を観察して一人ひとりの状況や習慣に応じた支援をしている。	栄養摂取や水分補給については宅に配慮をし、職員が常に入居者を観察して一人ひとりの状況や習慣に応じた支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	常に口腔内清潔保持に努めている。自分で出来る人は声掛けをして行ってもらい、自分で出来ない人には、職員が手伝って毎食後行っている。		
			常に口腔内清潔保持に努めている。自分で出来る人は声掛けをして行ってもらい、自分で出来ない人には、職員が手伝って毎食後行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、日中と夜間の個別対応に十分配慮し、トイレ誘導等に気配りしている。トイレ等については必ず職員が見守りしている。	バイタルや水分・食事摂取量、排泄状況をまとめたチェック表により、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや手引き誘導などで全員がトイレで排泄できるよう支援している。 身体状況に応じてリハビリパンツやパッド、夜間のポータブル使用など、排泄の自立に向けて対応している。	
			排泄チェック表を作成し、日中と夜間の個別対応に十分配慮し、トイレ誘導等に気配りしている。トイレ等については必ず職員が見守りしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防対策として食後便器に座ってもらったり飲食物の工夫や施設の公園への散歩等の適度な運動と水分補給など個々に対応している。主治医や訪問看護師へ相談したりしている。		
			便秘予防対策として食後便器に座ってもらったり飲食物の工夫や施設の公園への散歩等の適度な運動と水分補給など個々に対応している。主治医や訪問看護師へ相談したりしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	バイタルチェックや本人の以降表示や体調の具合を確認して、曜日や時間帯を決めて楽しい入浴時間としている。 バイタルチェックや本人の以降表示や体調の具合を確認して、曜日や時間帯を決めて入るが無理強いはず、一人一人のペースに合わせて入浴していただいている。	利用者の健康状態や希望を考慮しながら入浴を支援しており、気の合う利用者同士で入ったり、季節に合わせてさくらの入浴剤を入れるなど、入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して気持ちよく眠れるように、医師・訪問看護ステーション・薬剤師に常に相談できる体制にあり、それらと相談しながら行っている。 就寝時刻は一人一人の習慣や、その日の状態に合わせて就寝までの過ごし方もお任せしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、入居者全員かつ同じ調剤薬局を利用しており、薬剤師が持って来て服薬の方法または、医療機関への問い合わせ等も行っている。 病状に変化があれば医療関係者に報告や相談をし、薬の中止や変更をしてもらっている。病気と薬の関係について理解に努め医療関係者に確認している。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者それぞれの役割分担があり出来る事と出来ない部分がお互いに協力し合って楽しさを引き出す工夫をしている。			
			入居者それぞれの役割分担があり出来ない部分もお互いに協力し合っている。誕生会・敬老会等の行事または外出・外食にも誘い合っている。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	好天時には外出する。日が多くなっており車イス利用の人も出掛けてりしている。普段は行くことのない場所へも行ったりしており、大変喜ばれております。家族の負担にならないよう職員で行っている。	散歩や買い物等、日常生活の中で外へ出る機会を設けているほか、外食やドライブ、足湯や花見など外出ボランティアを活用してレジャーへ出かけ、気分転換を図っている。		
			好天時には外出する。日が多くなっており車イス利用の人も出掛けてりしている。普段は行くことのない場所へも行ったりしており、大変喜ばれております。家族の負担にならないよう職員で行っている。Ⅱユニット全員での外出の場合(花見又は遠足)は、ボランティアや家族の協力をお願いしている。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金制度をつくり本人で自由に使用出来るようにしております。特に外出時は職員と一緒に所持使用するようになっている。			
			預かり金制度をつくり本人で自由に使用出来るようにしております。特に外出時は職員と一緒に所持使用するようになっている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者本人の希望を十分受け入れ施設の電話で本人から電話するように支援している。手紙は書く人はいない。			
			入居者本人の希望を十分受け入れ施設の電話で本人から電話するように支援している。手紙は書く人はいない。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下等にもソファやテーブルを置いて自由に過ごせるようにしている。又日光浴出来る場所を設置し、東棟・西棟両ユニットの利用者で楽しく時を過ごしている。月2回生花教室を行い生花による季節感を出している。	利用者の動きやすい共有空間をつくり、ホールには手作りの小物や壁飾り等で、明るく家庭的な雰囲気の中でくつろいで過ごせるよう配慮している。		
			廊下等にもソファやテーブルを置いて自由に過ごせるようにしている。又日光浴出来る場所を設置し、東棟・西棟両ユニットの利用者で楽しく時を過ごしている。月2回生花教室を行い生花による季節感を出している。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	共用空間の居間で独りになったり、気の合う人と居れるような場所を作る為、常に居間のつくりを変えたりし、入居者が喜んでもらえるよう工夫に努めている。			
			共用空間の居間で独りになったり、気の合う人と居れるような場所を作る為、常に居間のつくりを変えたりし、入居者が喜んでもらえるよう工夫に努めている。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室については、入居者へ与えた場所であり自由に自分の部屋として使用してもらっている。模様替え等も自由に行っており、工夫に努めている。	各居室の配置や飾りつけは自由で、なじみの家具や囲碁の道具など大切にしているものを持ちこんだり、職員とともに購入し居室づくりをしている。 それぞれの部屋は折り紙の作品、賞状、写真、ぬいぐるみなどで飾られ、穏やかに暮らすことができるよう環境を整えている。		
		居室については、入居者へ与えた場所であり自由に自分の部屋として使用してもらっている。模様替え等も自由に行っており、工夫に努めている。				
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの力・能力を活かす為、施設内の掲示板を活用し、それぞれの制作した物や写真等が飾られたり、入居者が喜ぶ工夫をしている。			
		一人ひとりの力・能力を活かす為、施設内の掲示板を活用し、それぞれの制作した物や写真等が飾られたり、入居者が喜ぶ工夫をしている。				